



公民館報

くしもと

No.105
(2022/9/1)

編集・発行：**教育課**
串本町サンゴ台690番地5
TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

か さ ね や ま

重 疊 山

(神社・寺院・境内・石仏百体)

町指定文化財 記念物(名勝・天然記念物)
昭和52年2月3日指定

今月号の表紙は重疊山です。

弘法大師開基の霊山。海拔302mの山頂へと登る山道は絶好のハイキングコースとなっており、山頂の展望台からは、那智連山、九龍島、大島、橋杭岩等が一望できます。山頂近くに祀られた重山神社付近にはサカキ・コジイ(椎・榎)が群集しており、神王寺への参道には四国八十八か所になぞらえた石仏が、番外一二体を併せて百体が続きます。当時は重い石仏を人が背負って山頂まで運んだそうです。

町民総合展開催 ～ 出展作品募集 ～

今年も町教育委員会主催の町民総合展を開催します。

第18回目となるこの総合展は、串本町の文化・芸術の祭典であり、毎年様々なジャンルの工夫をこらした作品が多く出品され、鑑賞者を楽しませてくれています。

応募要領は次のとおりです。多くの出品とご協力をよろしくお願いいたします。

■趣旨

町民の美術に関する愛好心と鑑賞力を啓発し、美術作品の創作意欲を盛んにするとともに町の文化向上、発展に資する。

■日程

11月11日（金）～13日（日）
午前9時～午後4時30分

■応募資格

- ①串本町に住所または本籍を置く人
- ②串本町に勤務する人、または在学する人
- ③串本町内のグループに所属する人

■会場及び部門

- 町立体育館
- 生花、盆栽、工芸、俳画、俳句、手芸、書ほか
- 町文化センター
- 絵画、写真ほか

■出品手続

- ①所定の出品申込書に記入の上、10月5日（水）午後5時までに教育課または町文化センターに申し込んでください。



■その他

- ①書は表装共高さ2.1m以内、幅は全紙までとします。
- ②絵画は100号以内とし、額装とします。（申込書に号数記入）
- ③立体作品（生花除く）は重量50kg以下とし、間口、奥行き共1m以内とします。
- ④生花は、間口、奥行き共1m以内とします。
- ⑤写真は、パネル張平面作品または額装とし、単写真は四つ切りから全紙まで、組写真は縦横1m以内とします。
- ⑥パッチワークは、1m以内とします。なお、大きい作品は折り畳んで展示します。

■点数

- 原則1人2点以内（但し、部門別とし、俳句部門は1点とします）
- なお、展示スペースの都合により、1人当たりの作品点数が増減する場合があります。

■搬入

- 11月10日（木）午後1時から午後7時までの間に会場に搬入してください。

※原則として時間外の受付は行いません。当日都合の悪い場合は、前

■搬出

11月14日（日）午後4時30分から会場より搬出してください。

■その他

- ①搬入作業は慎重に取り扱いますが、不慮の損傷についてはその責を負いません。
- ②陳列等については、主催者及び運営委員に一任してください。
- ③出品申込状況により、展示場所を変更する場合があります。
- ④規定の期日に搬出されない作品は、処分することがあります。
- ⑤搬入・搬出の際は、マスクの着用やソーシャルディスタンスを保つなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じてください。
- ⑥その他、運営上疑義が生じた場合は、運営委員会において協議の上決定します。



日に教育課までご持参ください。詳しくは、教育課にご相談ください。

第五福竜丸 建造75年平和の歴史展

8月2日から7日までの期間、第五福竜丸建造の地平和の歴史展実行委員会主催（町教育委員会後援）で、第五福竜丸建造平和の75年歴史展を、町文化センターで開催しました。

第五福竜丸は、マーシャル諸島ビキニ環礁で操業中に、アメリカの水爆実験で被ばくした漁船です。古座川の中州にあった古座造船所でカツオ漁船第七事代丸（ことしろまる）として造られ、後に静岡県焼津市でマグロ漁船に改造された際に、第五福竜丸と名を改めました。今年、第五福竜丸が建造されて75年目にあたり

ります。期間中、第五福竜丸の歴史がわか

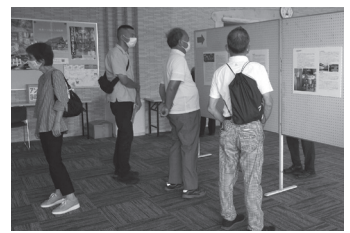
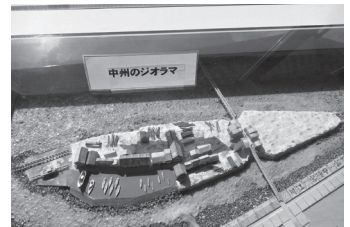


るパネル展や、高知平和資料館「草の家」の副館長 岡村啓佐氏を招いての講演会を行うなど、第五福竜丸建造の地として、その歴史や背景を風化させることなく後世に語り継ぐためイベントを実施いたしました。イベントを通じた来場者は約200名でした。

パネル展示

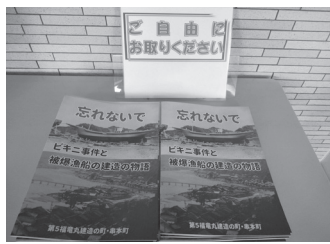


期間中、文化センター2階ホワイエでは、「ビキニ事件と被爆漁船の建造の物語」を中心に当時の写真や



新聞記事、被爆体験証言者と広島の高校生との共同制作による原爆の絵のパネルなど、約100点展示しました。

また建造70年の際に作られた当時の中洲のジオラマの展示もあり、見学者が委員に熱心に質問する光景も見られました。



実行委員会では、「忘れないで ビキニ事件と被爆漁船の建造の物語」を1500部作成し、来場いただいた方に自由に持ち帰っていただきました。また、次の世代に繋ぐことを目的に、町内の学校へも配布し、特に中学生は全員に配られる予定です。

8月5日は串本中の平和登校日となっており、大ホールでの平和学習のあと、生徒たちはパネル展の見学も行いました。

講演会



8月7日（日）午後1時から町文化センターにおいて、記念イベント「平和のつどい」が開催され、オープニングには地元の音楽グループによる歌と演奏、高知平和資料館「草の家」の副館長 岡村啓佐氏による講演「『ビキニ事件』と日本の戦後」が行われました。

来場者は約40名で、米国が水爆実験を急いだ背景や、第五福竜丸の被爆をきっかけに原水爆禁止運動が始まったこと、公になっていなかった他の船と乗組員の被爆の実態を掘り起こすきっかけが、高知県の高校生

の活動であったことなどを交えて講演いただきました。講演終了後は、「核兵器の廃絶のために」と題し、実行委員長の西野政和氏と対談を行い、子どもたちへの平和教育の大切さなどについて意見を交換しました。

文化自主事業公演開催 辻本好美 尺八コンサート

7月18日町文化センターにおいて、「辻本好美 尺八コンサート串本公演」（串本町文化自主事業実行委員会主催、町教育委員会後援）が開催されました。

当事業は町民が日頃触れることのできない質の高い芸術に親しむ機会を提供しています。

また、地域の幅広い年代の人々の心にやすらぎと潤いをもたらすことを目的とし、平成6年より実施しています。



今回は、YUTAKAさん（ギター）、池田安友子さん（パーカッション）と3人での演奏で、オリジナル曲の「シンクロニシティ」、高野山への参詣道をイメージし作曲した「祈りの道」、日本の最も古い民謡「こきりこ節」、カバー曲の「夜桜お七」など多彩な演奏を披露。

辻本さんは、以前から各地で演奏してきた「串本節」のアレンジを、「やっと本場で演奏できた」と喜んでいました。

観客のみなさんは、尺八の美しい音色と、ギター、パーカッションとのセッションを楽しんでいました。

例年は、2年に1回程度音楽（クラシック、ポピュラー、邦楽、民謡、民族音楽等）演劇、ミュージカル、

伝統芸能（舞踊、能楽、落語、漫才等）など多種多様なジャンルから実行委員会で選出し事業を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響で、客席も半分に制限して、3年半ぶりの開催となりました。

辻本好美さんは、橋本市出身で2016年にメジャーデビュー、2020年には和歌山県文化奨励賞を受賞され、各地でご活躍されています。



少年メッセージ2022 和歌山県大会



7月30日日高川町の日高川交流センターにて、公益社団法人和歌山県青少年育成協会主催による「少年メッセージ2022和歌山県大会」が開催され、先に行われた東牟婁地方予選会で優秀賞を獲得した潮岬中2年の西悠斗さんが東牟婁地方代表として出場しました。

この大会は、中学生が日頃から感じていること、考えていることを発表することにより、同世代の青少年が互いに理解し合い、大人も中学生に対する理解を深め、郷土の未来を担う若い世代の育成を図ることを目的とし、開催したものです。

当日は、県内8地方の予選会で代表として選ばれた中学生18名が発表を行い、審査員の評価を受けました。金賞には桐蔭中3年の園部暢也さんが選ばれ、串本町の西悠斗さんは銅賞に選ばれました。

超小型模擬人工衛星(缶サット)体験会

7月23日超小型模擬人工衛星(缶サット)体験会(和歌山県宇宙教育研究会主催、和歌山県、県教育委員会、串本町、町教育委員会後援)が町立体育館、町文化センターにおいて開催されました。

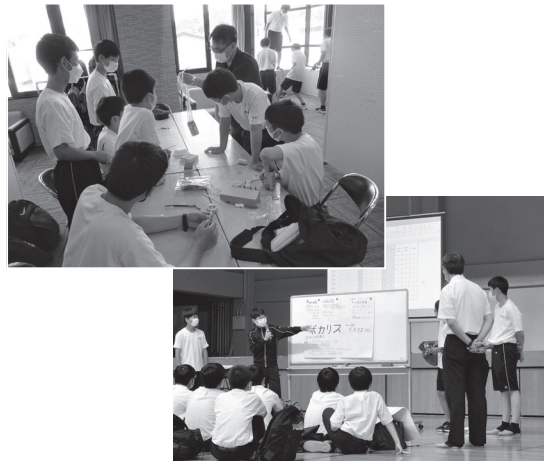
この体験会は、缶サットの製作体験を通して人工衛星についての理解を深め、宇宙の魅力を知ることを目的に、実施されました。

講師の東京大学大学院工学系研究科の中須賀真一教授は開会式で、参加した県内の中学生に宇宙のイメージを聞き、「日本人が小さな衛星作成に強いのは、小さな家で、整理整頓しながら生活するのが得意だから」などの話をされました。

参加者は、缶サットの製作に取組み、設定された落下時間や、着地の状態など、どのようにすればクリアできるかチームで考え、1回目の落下実験を行いました。



2回目は、1回目の問題点を修正し、実験に臨みました。そして、模造紙に設計で工夫をした点・結果の反省点等を記入して代表者が発表し、講評を受けました。



参加者の実験・発表を受けて、中須賀教授は、環境が厳しい宇宙では、再現性が高いこと、ありとあらゆる事を事前にイメージネーションしておくこと、プロジェクトの規模が小さいときに失敗しておくことが大事であるとし、最後に「缶サットは宇宙の入口なので、参加してくれたみなさんがこれからも宇宙と関わってけると嬉しい」と締めくくりました。



放送大学に入学しませんか

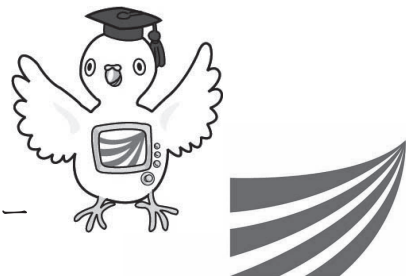
ただいま2022年10月入学生を募集中!

- 放送大学は、2022年10月入学生を募集しています。
- 10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。
- テレビによる授業だけでなく、学生は授業をインターネットで好きなときに受講することもできます。
- 心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。
- 半年間だけ在学することも可能です。
- 出願期間 2022年9月1日～9月13日(第2回)
(インターネット出願も受け付けております)

資料請求(無料)・お問合わせ先 放送大学和歌山学習センター
〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-20

TEL: 073-431-0360 Fax: 073-431-0311

放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp>



放送大学

ミニ御舟を展示（古座小学校）

7月19日串本町役場本庁舎で、古座小学校児童が「ミニ御舟」の飾りつけを行い、7月末まで展示をします。

この船は河内神社例祭「河内祭」で用いる御舟の模型になります。



例年は、古座小児童が七夕集会の取組で飾り付け、旧役場古座分庁舎に展示していたのですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2・3年度は例祭の規模縮小で見送っていました。
今年、なんとかコロナの収束と



地域の活気を取り戻したいと、5・6年生が中心となって、ミニ御舟を飾り付け、本庁舎に展示することになりました。
当日は6年生が教職員と一緒に、以前の写真を参考にしながら、飾り付けを頑張っていました。



第4回 串本町短歌大会 参加者募集

串本町および近隣市町村等の同好者が結社を超えて合同で行う大会です。ふるって出詠ください。

■主催：串本町短歌愛好会・串本町教育委員会

■出詠方法：

- ①未発表作品一首（自由題）
- ②作品はハガキ（原稿用紙も可）へ楷書で記入してください。
- ③投稿後、作品の訂正や差し替えはできません。
- ④かなづかい新・旧を明示してください。
- ⑤住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記してください。（投稿ハガキの右半分に詠草を、左半分に氏名等をご記入ください。）
- ⑥出詠料無料

■作品受付期間：

令和4年9月1日（木）～10月31日（月）
窓口での受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで※郵送が窓口への提出のみ受け付けます。
土曜日・日曜日・祝祭日の受け付けはできませんのでご注意ください。

※期限内必着。上記の期間以外は受付しません。

■送付先：〒649-3592

串本町サンゴ台690番地5
串本町役場 教育課
社会教育グループ 短歌大会事務局

※原稿用紙で出詠される場合、投稿用紙は折っても構いません。

■選者：岸田 正幸 氏
（毎日新聞 紀州歌壇選者）

■賞：特選・秀作・佳作を用意しています。

■発表：令和5年1月16日（月）

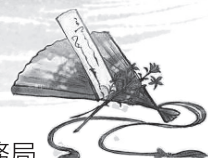
※講評会を開催するか、紙上大会とするかは新型コロナウイルスの感染拡大状況により判断し、12月末までに決定します。

■その他：出詠者には、作品一覧表と選者からの寸評をお送りします。

■問合わせ先：串本町教育課 社会教育グループ

電話：0735-67-7260

FAX：0735-67-7326





特別寄稿

記憶のなかの驟雨しゅうりゅう

東京大学名誉教授
(大学院人文社会科学系研究科・文学部)

中地 義和

つい数日前、学生時代からの友人で、芥川賞他数々の受賞歴をもつ著名な作家が新宮に招かれたので、串本まで足を延ばさなかつた。二泊三日の滞在中、海金剛や檜野埼灯台、望楼の芝、古座川の一枚岩や瀧の拝を車で回った。無量寺の応挙芦雪館の虎図、龍図や若冲の鬪鷹図も見てもらった。生まれも育ちも東京の彼は、なじみ深い房総や伊豆の海では絶えて見ない豪快な奇岩や野趣のみなざる景観に圧倒された、と帰京後のメールに書いてきた。

しばらくぶりに観る日米修好記念館の展示は新発見資料に基づいて刷新され、トルコ記念館は改築されて映画紹介設備などを備えたモダンな施設に生まれ変わっていた。個人的に一番好きな海金剛まで、日にわずか三本ではあるが町の巡回バスが観光客を運んでくるようになったことは喜ばしい。このまれにみる名勝は、その奥まった場所のせい、訪れる



人があまりに少ない。望楼の芝の本州最南端に新たに建造された「潮風の休憩所」が、かつて串本の人々が主役を担った豪州アラフラ海木曜島の白蝶貝採取の歴史を、見事な貝の標本とともにたどらせる展示館になっていくのも興味深かった。亡くなった叔父が、若いころアラフラに赴いたと聞いているのでなおさらである。こうした目をみはる変化は、串本町が町おこしの要は観光にありと考え、観光客への公共サービスや情報提供を充実させることに注力している証にちがいない。郷里の歴史に疎い私のような者にも、ありがたく啓発的なインシアティブである。

「君の出た学校が見たい」と友人が言うので、小学校、中学校、高校を案内した。串本の体育館は、たしか私が五年生のときに建てられたもので、当時としては立派な建物である。しかし六十年も経つとさすがに老朽化がはげしく、お墓に行く道すがら目にする壁面のひび割れが痛々しい。友人とともに久しぶりに足を踏み入れた校庭は、昔と変わらず土のままだった。かつては左右に向かい合って建っていた木造校舎のうち、左側の建物は跡形もなく、右側の校舎も鉄筋コンクリートに建て替えられていた。一学年百数十名、全校で千人を数えた学校が、今や入学者が一桁の年もあり、児童数では潮岬小学校に抜かれたと聞く。すべては少子化と津波への懸念に起因するのだ

ろう。夏休みに入った校庭には子どもの姿は見え、ほっかぶりをした人が独り黙々と草取りをしていた。

高校は新しい校舎が次々と建てられ、既視感がほとんど湧かない。串本ですごした最も幸福な時期と言ってよい中学時代の懐かしいテニスコートは、当時の場所にあった。ただし、昔は自由に出入りできた通路がガラス張りの二重扉で遮られ、許可を得ないとコートまで行けない。当直の先生に卒業生を名乗って入れてもらった。二面しかなかったコートが一面増えている。中学一年と二年の夏休みには、日がな一日、昼食を取りに帰宅する以外は練習に明け暮れた。一年上の学年には部員がおらず、二年生が自由気ままにやれた。まさに楽園だった。ところが練習の甲斐あって県大会に出られることになった。中三の夏、なぜか急性肝炎に罹ってひと月入院する羽目になった。和歌山に向かう仲間たちを乗せた汽車を、当時墓地の近くにあって(前の前の)串本病院の窓からさびしく見送った。それも含めて忘れがたい思い出だ。

まもなくコートを水浸しにしたに違いない。しかし前後の記憶は曖昧で、鮮明に刻まれているのは驟雨が接近する光景だけだ。



そんなことをとりとめもなく友人に語った。いかにも南国の夏らしいが、彼はおもしろがり、うらやましく交わり、彼の実家にも一度ならず遊びに行った。大学院も同じ仏文であったが、その後留学の時期がずれ、同じ大学に就職したものの学部が違ったので、この三十年間なかなか懇意にする機会をもてなかった。彼は研究者の資質も豊かに備えながら、自由な創作の道を選び、定年まで数年を残して早々に大学を辞した。詩人としても小説家としても批評家としても今や押しも押されぬ日本文を代表する文人である。四十年代、五十代はそれぞれが自分のことにかまけ、担う責任も大きい。のんびり個人的なおしゃべりなどする余裕はなかった。壮年期とはそういうものだろう。今、互いに老境に差しかかり、ようやく交誼を結びなおす余裕が生まれた。三十年のブランクが今回の来訪で一挙に満たされた気がしている。それが串本での、ゆつたりと打ち解けた対話のおかげであることがうれしい。

第22回 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

大会日時 令和5年2月12日(日) 午前11時スタート

場 所 開始式 紀三井寺公園陸上競技場

コース スタート 紀三井寺公園陸上競技場

ゴール 和歌山県庁前

(10区間：合計21.1km)

主 催 和歌山県、和歌山県教育委員会、社団法人和歌山県体育協会

対 象 小学校5、6年生、中学校1、2、3年生

チーム編成 小学生男女各2名、中学生男女各3名

第一次申込締切 令和4年9月26日(月)

出場者
募集!



お問合せ先 串本町教育委員会
教育課社会教育グループ
TEL.0735-67-7260



※新型コロナウイルス感染症を考慮し、大会が中止となる可能性があります。

昨年度は残念ながら大会が中止となりましたが、練習を頑張ったみなさんと記念撮影

教育課よりお知らせ

大人のための おはなし会

11月5日(土)

串本町図書館では読書週間にあわせて「大人のためのおはなし会」を開催します。

活字を読むだけでなく、ゆったりとおはなしやよみきかせを楽しんでみませんか?

どうぞお気軽にご参加ください。



■時間：午前10時30分より

■場所：串本町図書館

■お問い合わせ：串本町図書館

【62-4653】

■主催：串本町図書館

■協力：ぶっくらぶ串本

令和4年度

町民大運動会中止について

毎年秋のイベントとして、町民の皆さまにご参加いただいている町民大運動会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の開催は中止することになりました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

